

令和6年度 事業報告書

（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

1 浴場の概要

（浴場名，所在地）

市立浴場名	所在地
壬生浴場	京都市中京区西ノ京新建町12番地
久世浴場	京都市南区久世大築町66番地

（供用時間，供用しない日，営業日数）

市立浴場名	営業時間	定休日	営業日数
壬生浴場	16:00～22:00	日曜日	311日
久世浴場	16:30～22:30	日曜日	311日

（入浴料金①令和6年4月1日～令和6年9月30日まで）

区分	入浴料金
大人（12歳以上）	490円
中人（6歳以上12歳未満）	150円
小人（6歳未満）	60円

※ 大人については，1冊につき10券片4，700円の割引回数券を販売

（入浴料金② 令和6年10月1日～令和7年3月31日まで）

区分	入浴料金
大人（12歳以上）	510円
中人（6歳以上12歳未満）	160円
小人（6歳未満）	60円

※ 大人については，1冊につき10券片4，900円の割引回数券を販売

2 事業の実施状況及び施設の利用状況

（1）壬生浴場（総括、また入浴者数及び入浴料収入増減について考えられる原因など）

入浴者数の減数、入浴料金の収入減の原因の一つとして、常連の利用者でもある高齢者が老人デイサービスセンターで入浴されていることや施設に入所されたことが挙げられます。

また、令和6年10月1日から大人・中人の入浴料金が値上げされたこともあり、割引回数券の販売実績は昨年度より多少増加しましたが、利用者が入浴する回数を減らすなど、入浴料金の収入は減少しました。結果として入浴料金の値上げがこれらの減数・減収に拍車をかけた要因として考えられます。

◎入浴者数

区 分	令和6年度	前年度 (令和5年度)	前年度比較
大人（12歳以上）	8,686人	9,925人	-1,239人
中人（6歳以上12歳未満）	728人	754人	-26人
小人（6歳未満）	357人	95人	262人
合 計	9,771人	10,774人	-1,003人

◎入浴料収入（割引回数券含む）

令和6年度	前年度（令和5年度）	前年度比較
4,522,490円	4,740,590円	-218,100円

◎割引回数券収入

令和6年度	前年度（令和5年度）	前年度比較
6,940枚／3,325,000円	6,830枚／3,210,100円	110枚／114,900円

（２）久世浴場（総括，また入浴者数及び入浴料収入増減について考えられる原因など）

年間の入浴料収入は前年度より上回りました。これは、令和6年10月1日から、また令和7年4月1日からの入浴料金の値上げにともなって、事前に割引回数券を購入したことで収入金額が増加したと考えられます。しかし、入浴料金の値上げと利用者の入浴控えもあって、入浴者数は全体としてわずかに減少しました。

また、地域のママさんバレーボールチーム「体振久世クラブ」のつながりで、バレーボールチーム「洛南ジュニア」の子どもたちが利用したことで、中人・小人の入浴者数が増加しました。

◎入浴者数

区 分	令和6年度	前年度 (令和5年度)	前年度比較
大人（12歳以上）	14,479人	14,989人	-510人
中人（6歳以上12歳未満）	527人	374人	153人
小人（6歳未満）	506人	394人	112人
合 計	15,512人	15,757人	-245人

◎入浴料収入（割引回数券含む）

令和6年度	前年度（令和5年度）	前年度比較
7,548,910円	7,219,290円	329,620円

◎割引回数券収入

令和6年度	前年度（令和5年度）	前年度比較
9,670枚／4,636,300円	9,420枚／4,427,400円	250枚／208,900円

3 浴場の運営状況

(1) 施設運営の考え方

ア 管理運営の方針と理念について

京都市立壬生浴場・久世浴場は同和問題をはじめ、あらゆる人権問題の解決をめざすこと、また地区住民の公衆衛生、生活環境の改善と向上をはかることを目的として、設立当初から京都市ならびに浴場財団が運営をすすめてきました。この運営方針と理念のもと、引き続き、利用者同士のふれあいと憩いの交流拠点としつつ、あらゆる手段を講じて利用促進をはかるとともに、健康と福祉の増進に寄与していきます。

イ 浴場活性化および利用者数向上の取り組み

安定した経営基盤の構築と地区住民の生活基盤の安定と雇用の促進をはかり、さらに障害者就労支援の観点から、業務の一部を（社福）京都聴覚言語障害者福祉協会と（社福）向陵会に委託することにより、ノーマライゼーションの理念のもと、障がい者の社会参加と障がいのあ
る人ない人も住みよい安心安全の地域づくりに貢献することを理念に運営をおこなってき
ました。

また壬生浴場では、平成28年度からは学区自治連が母体である、NPO法人あかしやふれ
あいネットワークが取り組んでいる子ども食堂・こどもの居場所づくり事業に入浴事業を取り
入れていただき、学生ボランティア、番台スタッフと連携して入浴マナーと「浴育」の向上、
ひとり親家庭・貧困家庭等への負担軽減、利用者の増加など相乗効果を高めてきました。

久世浴場では、久世消防団をはじめ、ママさんバレーボールチーム「体振久世クラブ」やバ
レーボールチーム「洛南ジュニア」への声掛けをおこない、入浴者数の増加に努めてきました。

ウ 運営経費削減のための取り組み

運営経費の削減のためには毎月の光熱水費を点検することを肝要としてきました。シャワー
やカランのお湯の漏水などがなくその都度、点検してきました。

今年度も漏水していたカランやシャワーヘッドの部品交換をはじめ、濾過機ポンプの取り替
え工事を実施し、光熱水費の削減にむけて努力しました。

(2) 施設の維持管理・運営体制

ア 建物・設備の維持管理方法

法定点検や定期点検は、法律や規則で定められた回数、点検方法などを共同企業体である

（有）京都保全管理が担ってきました。故障などトラブルになりやすいボイラーについては、専門業者からレクチャーを受け、基礎的な対応ができるように技術向上に努め、軽微の修繕等については自社でおこなってきました。

今年度の浴場内および施設周辺などの清掃については、一部事業を委託している（社福）京都聴覚言語障害者福祉協会と（社福）向陵会から毎日7～8名のスタッフが業務を遂行しました。来年度からは、壬生浴場は（社福）みやこ、久世浴場は合同会社就労サポート梅の宮の両障害者就労支援事業所に清掃業務を委託し、施設内外の環境美化につとめます。

また、カランやシャワーヘッド、機器類の故障箇所のリストを作成し、緊急度と予算、利用者からの要望等を総合的に判断して修繕をおこなってきました。

イ 施設の修繕実績

【壬生浴場】

修繕箇所	修繕日	修繕内容
濾過機ポンプ	5月	濾過機ポンプの修理
濾過機ポンプ	6月	濾過機ポンプの修理
濾過機ポンプ	11月	濾過機ポンプの取り替え
カラン・シャワーヘッド	1月	カラン・シャワーヘッドの取り替え

【久世浴場】

修繕箇所	修繕日	修繕内容
ボイラー	8月	ボイラー基盤取り替え
濾過機ポンプ	9月	濾過機ポンプの修理
濾過機ポンプ	10月	濾過機ポンプの取り替え
塩素タンク	10月	塩素タンクの取り替え
カラン・シャワーヘッド	1月	カラン・シャワーヘッドの取り替え

ウ 職員の体制

【壬生浴場】

職種	勤務時間	人数	備 考
火夫	3、8時間	2人	① 午後0時～午後3時 ② 午後3時～午後11時
番雑	4、7時間	2人	① 午後4時～午後8時 ② 午後4時～午後11時
事務	7時間30分	1人	午前9時～午後5時30分勤務

【久世浴場】

職種	勤務時間	人数	備 考
火夫	3、8時間	2人	① 午後0時～午後3時 ② 午後3時～午後11時
番雑	4、7時間	2人	① 午後4時～午後8時 ② 午後4時～午後11時
事務	7時間30分	1人	午前9時～午後5時30分勤務

エ 環境面および衛生面への配慮

環境面については、地球温暖化防止のため蛍光灯のLED化や省エネラベル商品の購入、節電や節水に心がけてきました。また、環境負荷を軽減するために、CO₂の削減に努めて、環境モデル都市・京都にふさわしい事業所をめざしてきました。

衛生面については一部事業を委託している（社福）京都聴覚言語障害者福祉協会と（社福）向陵会が清掃作業を担い、番雑は営業時間中に浴室内のゴミなどの処理をおこなってきました。

また、インフルエンザや新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、脱衣場のイス・カゴ・ヘアドライヤー・マッサージ機など、こまめに清掃や消毒をおこなってきました。

(3) サービス向上の取り組み

ア 利用者の増加をめざした取り組みとして

シャンプー、リンス、ボディーソープの無料提供、タオルの無料貸出を実施することで、サービス向上をはかり、利用者の増加に努めてきました。

また、割引回数券を購入された利用者には粗品を贈呈し、サービス感をもてるよう企業努力に努めてきました。

イ 苦情の受付及び対応の方法

番雑スタッフが利用者とのコミュニケーションをはかり、利用者のニーズの把握に努めてきました。そのなかで、直ちに実現可能な案件については管理運営に反映させ、中長期的な案件については、計画性をもって取り組んできました。

緊急性を要する苦情については現場の浴場主任が対応にあたり、事前協議、事後報告を遅滞なくおこなってきました（京都市にも事前・事後報告をおこなう）。その内容等について記録し、運営会議で情報と課題を共有化・教訓化としてきました。

ウ 研修、人材育成についての考え方

両浴場の特徴として高齢者の利用が多いことが挙げられます。その観点から、新しく入社した番雑スタッフには高齢の利用者に積極的に声かけをおこない、転倒など事故の防止を未然に防ぐように指導するなど研修をおこなってきました。

また今日、社会問題となっているパワーハラスメントやカスタマーハラスメントなどについて適宜、スタッフ会議を実施してきました。

エ 高齢者や障がいのある方にとって利用しやすい浴場となるような取り組み

利用者の中で希望される独居高齢者には、連絡先などを登録していただき、3日以上、入浴に来られない場合、訪問や電話などで安否確認をおこなってきました。

雨天の場合、傘を必要とする日は手ぶらで入浴できるように、シャンプー、リンス、ボディークリーム、タオルなどを無料で常備してきました。

また、途中で雨天になった時は、傘の無料貸し出しをすること、帰宅途中で足を滑らせないように自宅まで寄り添って送ってきました。

オ 接遇・応対に関するサービスの充実策

「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」など、サービスマナーの徹底と入浴方法についてポスターを掲示してきました。

最近では外国人利用者が多くなったこともあり、英語・中国語・韓国語・スペイン語などの言語で入浴マナー表を作成し、案内してきました。

(4) その他

ア 事故防止、非常災害時、緊急時への対応策

各浴場責任者（火夫）には、万一に備えて防火管理者講習を受講した有資格者を配置しています。

毎年、集中豪雨や台風等により、久世地域に隣接する桂川の水位が異常に上昇することもあります。避難準備など区防災担当者等との連絡体制を整えてきました。

また、高齢の利用者が多いこともあって、事務スタッフが普通救命、久世浴場には普通救命・上級救命の資格を取得したスタッフがおり、緊急時に即対応できる体制を整えています。

イ 個人情報保護・情報公開についての考え方

社員の履歴書をはじめ、利用者から得た個人情報については本社事務室の施錠付ロッカーに保管するなどして厳重に管理しています。

さらに、個人情報の保護に関する法律、京都市情報公開条例、京都市個人情報保護条例などを事務所内に置き、常に閲覧できるようにするとともに、社員に対してもその内容の理解を徹底しています。

具体的には、京都市立浴場の管理運営業務に関して知り得た秘密を漏洩し、自己の利益のために利用しないこと、その職務を退いた後においても同様であることを契約させる書面を交わしています。

ウ 自主事業の取り組み状況

シャンプー、リンス、ボディーソープ、貸タオル、ヘアドライヤー等を無料提供し、手ぶらで来場しやすいように取り組んでいます。また、利用者にサービス感とお得感が実感できるように、回数券の購入者には粗品を贈呈しています。

地元NPO法人や隣接するいきいき市民活動センターの子ども食堂と提携し、来館者や参加者へ入浴利用を促進させて、「浴育」の推進を実施してきました。

オ 市内中小企業への発注実績割合

市内の中小企業への発注実績は100%（件数：8件）であり、第三者への発注はありません（共同事業体内での発注や特殊な技術等のため、メーカー1社しか契約できない案件は除く）。

4 施設の管理業務、自主事業に係る収支決算

別紙のとおり

指定管理者の業務の収支状況 (単位：円)

①指定管理業務の収支状況

年 度	令和6年度			Bグループ全体
	壬生浴場	久世浴場		
ア 収入状況		収 入 内 訳		
入浴料収入	4,522,490	7,548,910	現金 4,110,100円 割引回数券 7,961,300円	12,071,400
委託費	26,325,000	32,175,000	指定管理料	58,500,000
雑収入	3,103	3,791	銀行利息等	6,894
				0
収入計	30,850,593	39,727,701		70,578,294
イ 支出状況		支 出 概 要		
給料手当	11,177,637	13,661,555	本社浴場担当業務員、火夫、番台	24,839,192
法定福利費	198,182	242,222	社会保険料、労働保険	440,404
福利厚生費	152,700	186,633	健康診断 など	339,333
消耗品費	465,380	569,214	清掃道具、アメニティ など	1,034,594
修繕費	747,643	913,787	配管清掃、浴槽補修 など	1,661,430
光熱水費	6,394,739	12,392,057	水道代、電気代、ガス代	18,786,796
保険料	105,746	129,246	車両保険、労災保険 など	234,992
保守点検費	3,203,964	3,915,956	施設保守点検、ボイラー点検、定期点検など	7,119,920
衛生管理費	1,822,439	2,227,422	清掃費、ごみ処理代、水質検査 など	4,049,861
自主事業費	0	0	イベント費用 など	0
交通・通信費	370,025	452,254	電話料金、印刷費、通信費、ガソリン費など	822,279
雑費	990,603	1,210,740	事務所経費 振込手数料 税理士報酬 など	2,201,343
租税公課	4,358,206	5,326,698	所得税、法人税、府市民税	9,684,904
				0
				0
				0
				0
				0
				0
支出計	29,987,264	41,227,784		71,215,048
ウ 収支				
収支	863,329	-1,500,083		-636,754

②自主事業の収支状況

年 度	令和6年度			Bグループ全体
	壬生浴場	久世浴場		
ア 収入状況		収 入 内 訳		
				0
				0
収入計	0	0		0
イ 支出状況		支 出 概 要		
				0
				0
支出計	0	0		0
ウ 収支				
収支	0	0		0

①+②の収支合計	863,329	-1,500,083		-636,754
----------	---------	------------	--	----------